



答辞

冬の寒さもようやく遠のき、温かな日差しに春の訪れを感じる季節となりました。ここに修了の日を迎えられましたことを大変嬉しく思います。学位記授与を迎えた今、これまでの研究生活を振り返ってみますと、多くの人からのご支援・ご指導をいただいた四年間であったと感じております。

私は愛媛大学病院で放射線科医として働きながら研究を行ってまいりました。私の研究テーマは心臓 MRI でした。心臓 MRI は心臓の診断に有用ですが、検査時間が長いことから患者さんへの負担がある検査です。そこで私は従来の画質を保ちながら検査時間を短縮し、患者さんの負担を軽減することを目標として取り組んできました。

大学院に進学した当初は仕事と研究を両立することができるか不安に思うこともありましたが、臨床で生まれた疑問を研究に取り入れ、また研究で得た知識を臨床へ還元させながら理解を深めるという好循環を生み出すことができました。また国際学会での発表など自分だけの力では決して見ることができなかった世界を先生方からのサポートのおかげで経験させていただきました。愛媛大学は私にとって、社会人としても大学院生としても最高の学びの場であったと実感しております。

愛媛大学大学院で過ごした日々は私たちの誇りであり、これから各々の未来を切り開いていく力となると考えています。修了生ひとりひとりが、大学院で真剣に学問と向き合えた経験を糧とし、多様な分野で貢献できるよう精進してまいります。そして、その歩みをもって愛媛大学大学院の発展に寄与することができればと思っております。

最後になりましたが、本日までご指導下さった先生方、学生生活を支えて下さった職員の方々に、そして常に私を支えてくれた家族に心から感謝します。私たちの母校である愛媛大学大学院のより一層のご発展を祈念いたしまして、答辞といたします。

令和 2 年 3 月 24 日 修了生総代 医学系研究科放射線医学講座 平井 邦明

